

分野別座談会を実施

～子育て世代や若い世代、それぞれの分野で活躍されている方の声を定住化に活かす～



児童・生徒・保護者との座談会の様子(10月12日(日)町民文化センター)

平成26年9月25日(木)から10月12日(日)にかけて、分野別まちづくり座談会を開催しました。

各分野に関する事に限らず、まちづくり全般に関する事など広く意見交換を行い、様々なご意見・ご提案をいただきました。地域別で行ったまちづくり座談会とは異なる視点からのご意見・ご提案も多々いただきましたので、各座談会でいただいた結果につきましては、現在策定中の第5次総合計画まちづくりアクションプログラムや今後のまちづくりに反映させていただきます。

【問い合わせ】
政策推進課経営戦略係
☎(83)1222

こちらの日程・場所で、分野別座談会を実施しました。

- 9月25日(木)
町文化祭出場団体(役場)・町商工振興会(役場)
- 9月27日(土)
小学生の所属する町スポーツ登録団体(役場)
- 10月5日(日)
立花学園高等学校在校生(健康福祉センター)
- 10月12日(日)
・さくら保育園(松田在住)、松田幼稚園・小学校・中学校保護者(町民文化センター)
・さくら保育園(寄在住)、寄幼稚園・小学校・中学校保護者(寄中学校体育館)

主なご意見・ご提案

- 文化祭の企画は町が中心となるよりも、町と出場団体で組織する実行委員会が行う方が、盛り上がるのではないかと。
- 町民文化センターの規模は、現状を考えると大き過ぎないかと。
- 桜まつりやロウバイまつりを知らない人が県内にも多く、PRが不足しているのではないかと。
- 町の商工業者への支援は、個別の業者を支援するという形ではなく、例えば、町での買い物を促進するなど、商工業全体への支援の方が良いのではないかと。
- 給食費や医療費の助成はありがたいので、住む人を増やすためにPRした方が良いのではないかと。
- 中学校の運動部は、顧問の力量により活発な部活とそうでない部活がある。外部指導者を活用した方が良いのではないかと。
- 町内には子どもが自由に遊べる場所が少ない。自然を利用した公園など、安全に遊べる場所をもっと増やした方が良いのではないかと。



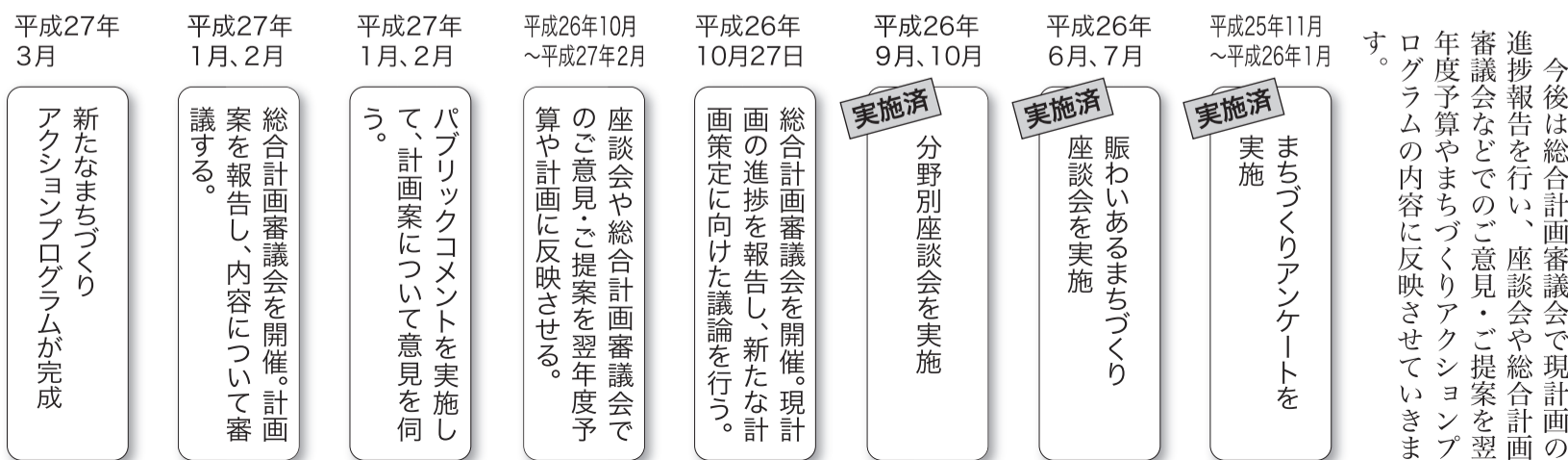
町商工振興会との座談会の様子(9月25日(木)町役場)

6月と7月に全15会場、地域別の座談会を実施しましたが、子育て世代や若い世代の声をもっと聞くべきではないかとご提案いただいたことや、特定の分野で活躍している方の声を伺いたいと考えたことから、分野別座談会を開催するにいたしました。

いただいたご意見・ご提案は、表のとおりです。紙面の都合上、全て掲載することはできず、一部の掲載とすることをご了承ください。JR松田駅・新松田駅周辺の整備や子育て支援の充実、寄地域の豊かな自然を活かした観光など、地域別座談会と同様の「ご意見・ご提案」もありましたが、各分野ならではの「ご意見・ご提案」もいただくことができました。また、立花学園高等学校での座談会参加者は全員、町外在住の方でしたが、「桜まつり以外の町の行事を知らないし、町の行事には全く参加したことがない」、「町の観光の名所を知らない」、「町のことを知る機会がなく、また、関わる機会がない。」などの意見をいただきました。こちらにつきましても、今後の課題としてまちづくりに活かしていきたいと思えます。

ご参加いただいた皆様方につきましては、ご多忙中、ご協力いただきましてありがとうございます。

まちづくりアクションプログラム策定の今後の流れ



自治会名() ※分からなければ住所を書いてください

世帯主名()

※未記入の場合は無効です

自治会名() ※分からなければ住所を書いてください

世帯主名()

※未記入の場合は無効です